No４００　　2026年9月　September

「de mano(で まぁの)」は、牛豚肉を加工する「まぁの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まぁの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。
「mano」はエスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まぁの から de mano

エスペラント語で「mano」は「手」、「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まぁの　【火曜定休】
兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6
☎ 06-6495-2546
📠 06-6495-2900
✉ mano0298@snow.plala.or.jp
HP　https://www.e-sora.net/mano/

大鹿村においでください

農家カフェ BAU　紺野　香糸

大鹿村で、農家カフェ BAU も開業７年目になりました。９月に皆さんが来られる時は２日目のお昼をご用意させていただきます。メニューは、アルプス牛肉とさんさんファーム豚肉の合挽ハンバーグ定食を予定しています。開店当初からのカフェ BAU の人気メニューです。こだわりは牛肉豚肉はもちろん、パン粉は北海道産小麦を使用、卵は大鹿村の平飼有精卵を使うなど、地産国産を意識しています。特にハンバーグソースはアルプス牛のスジ肉と野菜と赤ワインを煮込んで作っていて、このソースが他では味わうことのない美味しさのポイントかと思います。ご参加される皆様、楽しみに大鹿村へいらしてください。



このハンバーグソースに使う人参は、母の育てた無農薬人参を使わせてもらうことが多いです。母は学校給食に出すために人参の種を蒔いていますが、今年は学校からサイズ、形状、重量など厳しく指定されてしまい、出荷を断念したとのことです。学校側が厳しい条件を出しているのは人参に限ったことではなく、何年も出荷していた農家さんもだんだんと出荷できる作物が少なくなっている様子です。背景に見えるのが調理員さんの意向と人員不足のようです。決まった時間内に調理を終わらせるために、下処理にひと手間かけなければならない野菜は使えないと、調理員さん主導で調理室が動いている様子です。確かに、保健所関係から求められる学校給食の調理と調理室の管理規則の中で、少人数の調理員が時間内に調理を完成させるには、合理的に作業を進めたいと思うのは当然かと思います。でも学校給食の地産地消は村でも推奨しています。母のように大鹿村の子どもたちのためにと種を蒔いてくれる農家さんの気持ちを子どもたちに届けるには、調理員を増やすなど村の対応や学校側の努力が欲しいと感じます。小さな村だから柔軟に対応できそうと思うのですが、学校給食の地産地消が大鹿村の課題の一つです。私も保護者として各所にお願いしていきます。



母のにんじんは収穫全量ではありませんが、大鹿村の道の駅やカフェ BAU の敷地内の無人販売で販売し、おいしく食べてもらえている様子です。

今年の夏は涼しい？

希望農場-７月農場たより　清野　光弘

今年は、６月に入っても去年とは違い暑い日がありません。本来の北海道の初夏といった感じです。ただニュースを観ると、九州をはじめ台風の影響などから大雨の降っている様子が流れていました。ここ１０年くらいで良く聞く線状降水帯が発生して、大雨を降らして道路が冠水、川は溢れそうなくらい流れが酷く、土砂崩れまで起きています。私の感覚では、北海道は今年雨が少ないように思います。２０℃から２５℃くらいの気温で、からっとしていて、本当に過ごしやすい日が続いています。でも油断は大敵です。長期予報では、７月の中旬くらいから北海道も３０℃を超える日がたくさんあるようで、梅雨のない北海道でも雨の日が続くと言っていました。

中東情勢の影響からか物価高が凄いです。日用品は毎月値上げがあり、どこまでいくのか不安です。今は、

北海道では野菜が安く手に入ることで、食卓には野菜の料理が多く並ぶようになってきました。中東情勢ですが、停戦すると言ってはいますが、毎日どこかで爆撃などのニュースが流れてくると、いつになると終結するのか？　こんなことを考えてしまいます。



さて放牧豚たちですが、２０℃くらいの気温で過ごしやすいようで、元気に農場の丘を駆け上ったり、駆け下りてきています。少し気温が上がると吹き抜けのテントに入り、水を飲んだり餌を食べて、気温が下がる夕方になると、また農場の中を駆け回っています。これからくる高温など、何も心配していません。

北海道内各地でこれからは夏祭りが盛んになります。出店では、浴衣を着た人たちが美味しい食べ物を買い、歩きながら食べることでしょう。

皆様のところも、これから夏本番を迎えます。お身体には十分気をつけてください。私たちも体調管理に気をつけて、美味しいお肉をお届します。

山の記録

弥山（奈良県天川村）　7 月 22 日

20 数年ぶりです。天川からの国道はまさに“酷道”で、路面は荒れているし、車は対向できないし、マイクロバスなどどうして通るんでしょう。何とか行者還トンネル西口駐車場に着きました。昔に比べてずいぶん整備されて管理事務所もあり、千円の駐車料金を払いました。横に有料トイレもあり、百円で利用させてもらいました。すでにこの区画は満車で、以降の車は下の第２第３区画に入ります。やっぱり平日でも人気です。

奥駈道への出合までは急斜面で砂利道のため、難儀します。前は GW だったのでシャクナゲのアーチをくぐって登りました。何とか尾根に出て、弁天の森から聖宝宿跡まで快適な縦走路です。下りてくる人たちに会います。弥山小屋にテン泊した若者二人は、「小屋泊まりは数人でした」と伝えてくれます。

ここから聖宝八丁、岩場に砂利が続き、さすが修行の道です。上から続々下りてきます。泊りの人だけではないでしょう。やっと弥山に１１時前。八経ヶ岳まで行く予定でしたが、帰りを考えると厳しいので、弥山止まりにします。一応本来の山頂である天河弁財天奥社にお参りしました。





今日はさすがに熱く、500cc の経口補水液がちょうど切れて、戻りはお茶になりました。下りも慎重に、そろそろ下りていきます。こんな時木の階段はしっかりしていて助かります。最後の出合からの急坂は特に慎重に下りていましたが、後ろから二人のグループが続くもので、どうしても意識して、一度つんのめって顔から倒れてしまいました。幸い眼鏡がゆがんだくらいで傷は浅く、最後の沢で顔などを洗えたので助かりました。後ろからのお二人も一緒に水を使い「ここまで無事に戻れてよかったですね」「いやー、ほんとです。もう車までは大丈夫でしょう」。

先の「酷道」に懲りて、帰りはトンネルを抜けて東の R169 経由で戻りました。

ニ　ク　ヤ　ノ　ツ　ブ　ヤ　キ

◇　うっかり前のめりに転倒して左鎖骨を折ってしまいました。左手がほとんど使えず、手術後も１ヶ月はあまり動かせません。皆に迷惑をかけてやめていく…まぁのらしいドジです。すみません！　（幸治）

◇　暑さのせいか、時折めまいがして、うっかり「足放り」体操をし忘れていたら、またひざ痛。でも体操を再開したらすぐマシになりました。正座できるし、効果抜群！　（幸子）